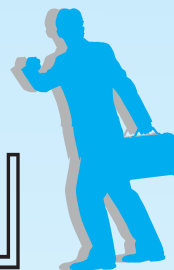


## 県内景況は小幅ながら改善

## 目 次

調 査 要 領		
1. 概 況		2 ページ
2. 業 況 判 断	製造業は改善、非製造業は悪化	3
3. 売 上	製造業、非製造業とも悪化	3
4. 受 注	製造業、非製造業とも悪化	4
5. 経 常 利 益	製造業、建設業とも悪化	4
6. 在 庫	製品在庫は過剰感が減少、商品在庫は増加	4
7. 販売価格・仕入価格	製造業、非製造業とも上昇	5
8. 資金繰・借入金残高	借入金残高は非製造業が減少	5
9. 雇 用	製造業は不足感が増加	6
10. 設 備 投 資	製造業、非製造業とも増加	6
11. 経 営 上 の 問 題 点	「仕入価格の上昇」は減少	7

『とりぎん 中小事業者向け融資は  
充実のラインナップ  
スピード審査でお応えします』



短期資金なら

手続き簡単

融資は最高

3,000万円まで

とりぎん

地域振興ファンド **活カ**

原則  
無担保・第三者保証人不要

長期運転資金なら

ゆとりの返済

最長

5年返済

鳥取県信用保証協会付

とりぎん **活カII** 新登場

無担保・第三者保証人不要

設備資金・白色申告者の方なら

最長

7年返済

鳥取県信用保証協会付

**鳥取県追認保証制度**

(運転資金は最長5年返済)

**無担保**

鳥取銀行とお取引のない方もご利用いただけます。

**まずは、ご相談ください!!**

当行本支店への  
ご来店又はお電話

ファックス



FAXエントリーシートを  
ご利用しています。  
お気軽にご相談ください。

インターネット



<http://www.tottoribank.co.jp>

TOTTORI  
BANK



青い鳥の銀行です

**鳥取銀行**

<http://www.tottoribank.co.jp/>

平成17年1月31日現在



TOTTORI BANK

発行 鳥取銀行 ふるさと振興部  
くらしと経営相談所

〒680 8686 鳥取市永楽温泉町171番地  
TEL 0857-37-0220

表 - 6 業種別 仕入価格 B S I

業種	判断	16年7～9月実績				16年10～12月実績				17年1～3月予想			
		A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2
全産業		37	54	9	14.0	47	48	5	21.0	43	51	6	18.5
食料品		11	89	0	5.5	67	33	0	33.5	67	33	0	33.5
繊維・縫製		0	100	0	0.0	33	67	0	16.5	33	67	0	16.5
木材・木製品		50	50	0	25.0	67	33	0	33.5	67	33	0	33.5
紙・紙加工品		58	28	14	22.0	40	60	0	20.0	40	60	0	20.0
窯業・土石		0	100	0	0.0	20	60	20	0.0	20	80	0	10.0
金属・機械		81	13	6	37.5	79	7	14	32.5	79	7	14	32.5
電気機械		36	64	0	18.0	29	57	14	7.5	29	50	21	4.0
印刷・その他		25	50	25	0.0	40	60	0	20.0	40	60	0	20.0
製造業		39	55	6	16.5	50	41	9	20.5	50	41	9	20.5
建設業		46	46	8	19.0	47	46	7	20.0	43	50	7	18.0
卸売業		36	50	14	11.0	50	50	0	25.0	27	68	5	11.0
小売業		20	60	20	0.0	23	77	0	11.5	31	69	0	15.5
運輸業		50	50	0	25.0	75	25	0	37.5	75	25	0	37.5
旅館・ホテル		20	80	0	10.0	25	75	0	12.5	25	75	0	12.5
非製造業		34	54	12	11.0	43	55	2	20.5	35	61	4	15.5

表 - 7 経営上の問題点（上位項目）

（単位：％）

	問題点	11年		12年		13年		14年		15年		16年		17年										
															予想									
製 造 業	1 売上・受注の減少	57	49	45	52	47	49	63	74	70	77	73	64	61	62	47	49	52	54	41	36	41	41	36
	2 仕入価格の上昇	2	7	13	7	12	6	6	6	4	5	4	5	6	11	12	13	14	14	22	38	41	30	29
	3 先行き見通し難	38	36	33	34	22	36	37	42	34	40	44	41	45	41	38	38	35	27	29	32	25	22	25
	4 販売価格の低下	43	42	49	39	37	45	45	32	27	44	25	31	43	31	30	48	42	29	30	23	23	17	17
	5 過当競争	20	14	24	25	18	25	18	14	20	12	15	21	18	15	17	19	17	20	19	20	17	17	19
	6 諸経費の増加	7	7	13	7	12	9	3	3	5	4	2	7	3	2	10	8	6	7	11	9	12	10	6
	7 人件費の増加	2	3	9	9	8	9	4	5	7	7	4	5	4	5	7	0	6	2	5	8	17	6	7
	8 資金繰り難	10	2	7	16	8	6	9	8	7	4	4	3	7	5	10	10	7	12	8	3	4	4	7
非 製 造 業	1 売上・受注の減少	59	59	56	50	62	60	62	66	65	64	66	67	63	74	79	69	60	59	68	64	63	56	56
	2 過当競争	39	36	46	36	25	25	42	41	30	29	29	35	35	28	27	29	25	37	38	36	28	25	24
	3 先行き見通し難	11	23	15	16	20	19	19	18	30	28	22	35	33	26	29	22	31	27	17	14	21	25	31
	4 販売価格の低下	36	32	37	34	36	33	32	33	35	29	40	27	28	38	23	27	27	33	30	21	18	19	18
	5 仕入価格の上昇	2	7	8	11	10	14	9	7	0	2	7	5	7	9	14	11	2	6	7	16	24	18	13
	6 諸経費の増加	7	9	12	16	11	14	4	3	8	5	3	3	5	2	4	0	7	8	3	4	10	7	3
	7 資金繰り難	13	13	10	14	10	7	11	8	13	16	14	10	10	10	14	16	15	8	13	16	10	6	10
	8 労働力不足	5	4	4	0	7	2	2	3	3	3	3	3	5	3	0	0	2	5	2	3	4	3	4

注：上位2項目の複数回答、回答数÷企業数（回答なしを含む）

表 - 4 業種別 経常利益 B S I

業種	判断	16年7～9月実績				16年10～12月実績				17年1～3月予想			
		A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2
全産業		25	36	39	7.0	24	31	45	10.5	14	36	50	18.0
食料品		44	23	33	5.5	33	34	33	0.0	0	44	56	28.0
繊維・縫製		17	66	17	0.0	0	67	33	16.5	0	67	33	16.5
木材・木製品		0	67	33	16.5	67	0	33	17.0	67	33	0	33.5
紙・紙加工品		29	42	29	0.0	40	0	60	10.0	0	40	60	30.0
窯業・土石		40	20	40	0.0	40	0	60	10.0	20	0	80	30.0
金属・機械		25	37	38	6.5	36	28	36	0.0	29	29	42	6.5
電気機械		36	28	36	0.0	33	20	47	7.0	7	33	60	26.5
印刷・その他		50	25	25	12.5	50	25	25	12.5	50	0	50	0.0
製造業		32	36	32	0.0	36	23	41	2.5	17	31	52	17.5
建設業		0	33	67	33.5	12	41	47	17.5	6	31	63	28.5
卸売業		23	36	41	9.0	14	36	50	18.0	14	45	41	13.5
小売業		25	37	38	6.5	14	29	57	21.5	14	43	43	14.5
運輸業		25	75	0	12.5	0	100	0	0.0	0	50	50	25.0
旅館・ホテル		40	20	40	0.0	25	0	75	25.0	0	50	50	25.0
非製造業		18	36	46	14.0	13	38	49	18.0	10	42	48	19.0

表 - 5 業種別 販売価格 B S I

業種	判断	16年7～9月実績				16年10～12月実績				17年1～3月予想			
		A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2
全産業		11	59	30	9.5	14	61	25	5.5	11	61	28	8.5
食料品		0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	0	89	11	5.5
繊維・縫製		0	100	0	0.0	0	67	33	16.5	0	67	33	16.5
木材・木製品		0	75	25	12.5	0	67	33	16.5	0	67	33	16.5
紙・紙加工品		14	72	14	0.0	0	80	20	10.0	0	80	20	10.0
窯業・土石		0	80	20	10.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
金属・機械		31	44	25	3.0	29	50	21	4.0	29	42	29	0.0
電気機械		0	43	57	28.5	0	40	60	30.0	0	33	67	33.5
印刷・その他		13	24	63	25.0	20	60	20	0.0	0	80	20	10.0
製造業		10	61	29	9.5	9	64	27	9.0	7	61	32	12.5
建設業		20	50	30	5.0	31	31	38	3.5	23	38	39	8.0
卸売業		14	57	29	7.5	23	63	14	4.5	14	68	18	2.0
小売業		13	60	27	7.0	15	77	8	3.5	23	69	8	7.5
運輸業		0	50	50	25.0	0	50	50	25.0	0	50	50	25.0
旅館・ホテル		0	60	40	20.0	0	50	50	25.0	0	75	25	12.5
非製造業		13	56	31	9.0	20	57	23	1.5	16	61	23	3.5

表 - 2 業種別 業況判断 B S I

業種	期 判断	16年7～9月実績				16年10～12月実績				17年1～3月予想			
		A 好転	B 不变	C 悪化	B S I A - C 2	A 好転	B 不变	C 悪化	B S I A - C 2	A 好転	B 不变	C 悪化	B S I A - C 2
全産業		25	43	32	3.5	34	26	40	3.0	14	48	38	12.0
食料品		33	45	22	5.5	44	44	12	16.0	0	67	38	16.5
繊維・縫製		17	66	17	0.0	0	67	33	16.5	0	100	0	0.0
木材・木製品		0	100	0	0.0	67	33	0	33.5	33	67	0	16.5
紙・紙加工品		29	42	29	0.0	40	0	60	10.0	0	40	60	30.0
窯業・土石		0	60	40	20.0	40	20	40	0.0	20	0	80	30.0
金属・機械		63	24	13	25.0	54	23	23	15.5	46	31	23	11.5
電気機械		46	23	31	7.5	46	27	27	9.5	20	47	33	6.5
印刷・その他		38	38	24	7.0	60	20	20	20.0	20	60	20	0.0
製造業		37	41	22	7.5	47	27	26	10.5	21	46	33	6.0
建設業		10	38	52	21.0	12	29	59	23.5	0	41	59	29.5
卸売業		14	40	46	16.0	32	22	46	7.0	14	53	33	9.5
小売業		6	50	44	19.0	21	22	57	18.0	14	43	43	14.5
運輸業		25	75	0	12.5	0	75	25	12.5	0	75	25	12.5
旅館・ホテル		40	40	20	10.0	25	0	75	25.0	0	50	50	25.0
非製造業		13	44	43	15.0	21	26	53	16.0	8	49	43	17.5

表 - 3 業種別 売上高 B S I

業種	期 判断	16年7～9月実績				16年10～12月実績				17年1～3月予想			
		A 増加	B 不变	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不变	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不变	C 減少	B S I A - C 2
全産業		35	22	43	4.0	34	19	47	6.5	19	41	40	10.5
食料品		44	23	33	5.5	33	45	22	5.5	22	67	11	5.5
繊維・縫製		17	66	17	0.0	33	34	33	0.0	0	100	0	0.0
木材・木製品		0	100	0	0.0	33	34	33	0.0	33	67	0	16.5
紙・紙加工品		29	28	43	7.0	20	20	60	20.0	0	40	60	30.0
窯業・土石		20	20	60	20.0	20	0	80	30.0	0	0	100	50.0
金属・機械		63	6	31	16.0	57	22	21	18.0	43	28	29	7.0
電気機械		36	28	36	0.0	40	27	33	3.5	20	47	33	6.5
印刷・その他		75	0	25	25.0	60	20	20	20.0	40	40	20	10.0
製造業		42	26	32	5.0	41	25	34	3.5	24	44	32	4.0
建設業		15	25	60	22.5	12	23	65	26.5	6	35	59	26.5
卸売業		32	18	50	9.0	38	14	48	5.0	14	48	38	12.0
小売業		25	12	63	19.0	36	7	57	10.5	21	36	43	11.0
運輸業		50	25	25	12.5	0	0	100	50.0	25	0	75	25.0
旅館・ホテル		40	20	40	0.0	25	0	75	25.0	0	50	50	25.0
非製造業		27	19	54	13.5	27	13	60	16.5	13	39	48	17.5



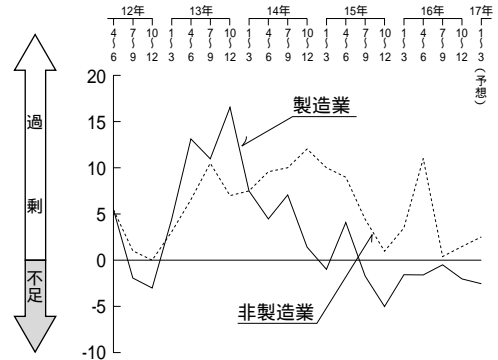
## 9 雇 用..... 製造業は不足感が増加、非製造業は過剰感が増加

常用雇用者 BSIは、製造業で不足感が増加し、非製造業では過剰感が増加した。先行きも製造業で不足感が、非製造業では過剰感が引き続き小幅ながら増加する予想となっている。

製造業の16年10～12月の常用雇用者BSI(「過剰」-「不足」)は、電気機械と金属・機械で過剰感が増加したものの、食料品や繊維・縫製などで不足感が増加し、7～9月の 0.5から 2.0となった。17年1～3月も 2.5と小幅ながら不足感が増加する予想となっている。

非製造業のBSIは16年10～12月は、旅館・ホテルや小売業などで過剰感が増加したため、7～9月の 0.5から1.5と小幅ながら増加した。17年1～3月も過剰感が引き続き増加し2.5となる予想である。

図 - 12 雇用（常用雇用者）の B S I



## 10 設備投資..... 製造業、非製造業とも増加

16年10～12月に設備投資をした企業は回答企業の31%で、前年同期実績(27%)を4ポイント上回った。

17年1～3月の設備投資計画は34%で前年同期実績(34%)と同水準の計画となっている。

製造業の16年10～12月の設備投資の実施割合は35%と前年同期実績(31%)より4ポイント増加し、食料品や金属・機械などが前年同期比で増加した。投資目的(複数回答、構成比、この項目は建設業を含む)は、「補修・更新」が78%、「合理化・省力化」が35%、「増産・能力増強」が26%、「新製品の生産」が17%などだった。17年1～3月の実施計画は33%と前年同期実績(44%)を11ポイント下回る計画となっている。

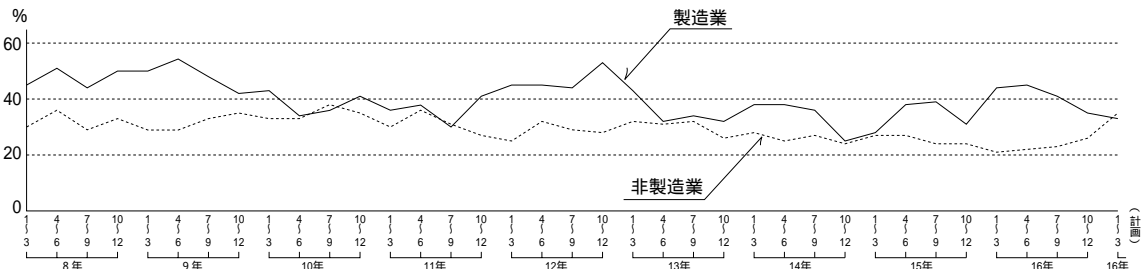
非製造業の16年10～12月の実施割合は26%と前年同期実績(24%)を2ポイント上回った。建設業や卸売業、旅館・ホテルで増加した。投資目的(建設業を除く)は、「補修・更新」が36%、「販売力の増強」が32%、「販売管理業務の合理化」が32%などだった。

17年1～3月の実施計画は35%と前年同期実績(21%)を14ポイント上回る計画となっている。

表 - 1 業種別設備投資企業割合

	( )内は前年同期実績：単位%		
	16年7～9月 実 績	16年10～12月 実 績	17年1～3月 計 画
全 産 業	32(32)	31(27)	34(34)
食 料 品	11(44)	33(25)	22(50)
繊 維 ・ 縫 製	0(25)	0(0)	0(20)
木 材 ・ 木 製 品	5(0)	0(0)	0(33)
紙 ・ 紙 加 工 品	8(50)	0(25)	0(33)
窯 業 ・ 土 石	2(11)	2(0)	2(17)
金 属 ・ 機 械	5(40)	5(43)	5(64)
電 気 機 械	4(57)	5(53)	4(57)
印 刷 ・ そ の 他	5(7)	4(25)	6(29)
製 造 業	41(39)	35(31)	33(44)
建 設 業	(5)	2(17)	2(11)
卸 売 業	1(6)	2(7)	2(0)
小 売 業	5(58)	3(55)	6(67)
運 輸 業	5(67)	5(50)	5(40)
旅 館 ・ ホ テ ル	4(75)	2(20)	2(40)
非 製 造 業	23(24)	26(24)	35(21)

図 - 13 設備投資実施企業の割合の推移



## 7 販売価格・仕入価格..... 製造業、非製造業とも上昇

販売価格は製造業、非製造業とも上昇が続く。製造業の販売価格のBSI(=「上昇」-「低下」)は16年7~9月の9.5から10~12月は9.0と小幅ながら上昇したが、17年1~3月は12.5と低下する予想である。

非製造業の販売価格のBSIも16年7~9月の9.0から10~12月は1.5と上昇した。17年1~3月は3.5と低下する予想となっている。

仕入価格は製造業、非製造業とも上昇した。製造業の原材料仕入価格のBSI(=「上昇」-「低下」)は16年7~9月の16.5から10~12月は20.5と上昇した。17年1~3月も同水準(20.5)で推移する予想である。

非製造業の仕入価格のBSIは16年7~9月の11.0から10~12月は20.5と上昇した。17年1~3月は15.5と低下する予想となっている。

図 - 8 販売価格のBSI

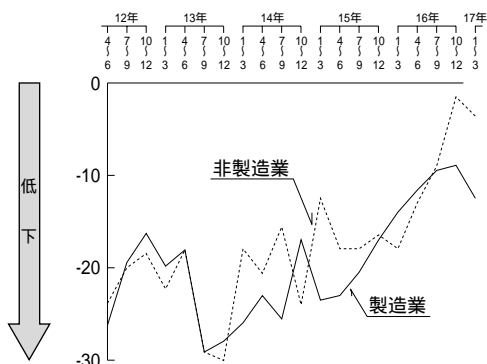
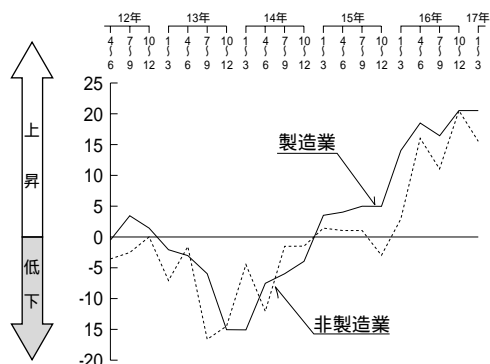


図 - 9 仕入価格のBSI



## 8 資金繰り・借入金残高..... 借入金残高は非製造業が減少

資金繰りは製造業で悪化、非製造業は改善した。製造業の資金繰りのBSI(=「楽」-「苦しい」)は16年7~9月の0.0から10~12月は5.0と悪化し、17年1~3月は8.5と引き続き悪化する予想である。

非製造業のBSIは16年7~9月の7.0から10~12月は6.5と小幅ながら改善したが、17年1~3月は13.0と再び悪化する予想となっている。

借入金残高は製造業が横ばい。

製造業の借入金残高のBSI(=「減少」-「増加」)は16年7~9月の16.5から10~12月は17.0とほぼ横ばいだった。17年1~3月も20.5と減少する予想である。

非製造業のBSIは16年7~9月の9.0から10~12月は7.0と減少幅が縮小した。17年1~3月は3.5と増加に転じる予想となっている。

図 - 10 資金繰りのBSI

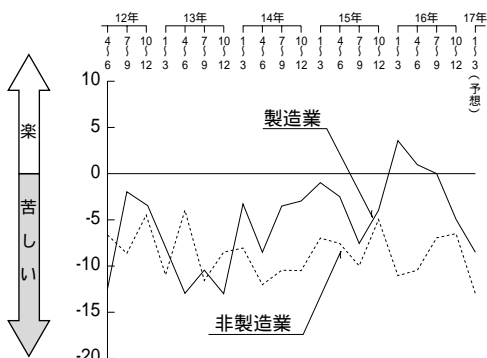
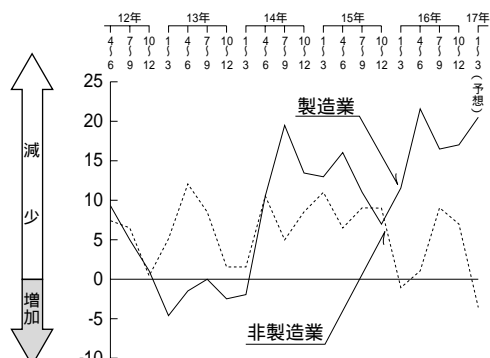


図 - 11 借入金残高のBSI





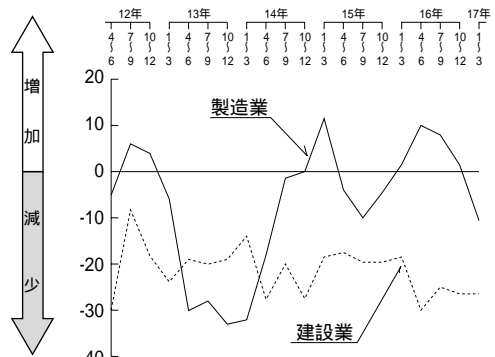
## 4 受注.....製造業、建設業とも悪化

**製造業、建設業とも悪化した。**

製造業は電気機械や食料品などが改善したが、繊維・縫製や金属・機械などが大幅に悪化し、BSIは16年7～9月の8.0から10～12月は1.5と悪化した。17年1～3月は食料品や金属・機械、電気機械などが大幅に悪化するため10.5と5・四半期ぶりに減少に転じる予想となっている。

建設業のBSIは、16年7～9月の25.0から10～12月は26.5と小幅ながら悪化し、17年1～3月も同水準の26.5となる予想である。

図 - 5 受注額のBSI



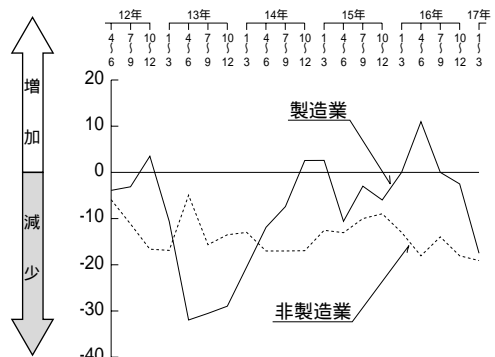
## 5 経常利益.....製造業、非製造業とも悪化

**製造業、非製造業とも小幅ながら悪化した。**

製造業は木材・木製品や金属・機械が改善したが、繊維・縫製や電気機械などが悪化し、BSIは16年7～9月の0.0から10～12月は2.5と4・四半期ぶりに減少に転じた。17年1～3月は引き続き電気機械や食料品、金属・機械などが悪化するため17.5と大幅に悪化する予想となっている。

非製造業は建設業が大幅に改善したが、その他全ての業種が悪化し、BSIは16年7～9月の14.0から10～12月は18.0と悪化した。17年1～3月は卸売業などが改善するものの、建設業や運輸業などが悪化し、全体では19.0と悪化する予想である。

図 - 6 経常利益のBSI



## 6 在庫.....製品在庫は過剰感が減少、商品在庫は増加

**製品在庫は過剰感が減少、商品在庫は増加した。**

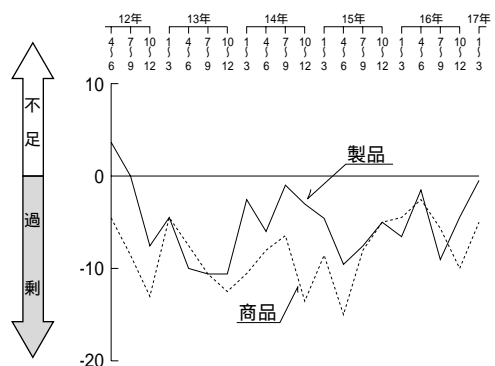
製品在庫のBSI (=不足 - 過剰)は食料品や電気機械、印刷・その他などで過剰感が減少し、BSIは16年7～9月の9.0から10～12月は4.0となった。17年1～3月は電気機械や金属・機械などの過剰感が減少し0.5となる予想である。

商品在庫は卸売業、小売業ともに過剰感が増加し、BSIは16年7～9月の5.5から10～12月は10.0となった。17年1～3月は卸売業が改善し、5.0と改善する予想である。

製造業の原材料在庫は木材・木製品は過剰感が増加したが、食料品や電気機械などで過剰感が減少し、BSIは16年7～9月の5.0から10～12月は3.5となった。17年1～3月は金属・機械や電気機械などで過剰感が減少し、BSI

は1.0と改善する予想である。

図 - 7 製品・商品在庫のBSI



## 2 業況判断.....製造業は改善、非製造業は悪化

自社の業況が前年同期に比べて好転しているか、悪化しているかについての経営者の判断を示す「自社業況の総合判断」のBSI「(好転の割合 - 悪化の割合) ÷ 2」は、16年10~12月は3.0で、7~9月の3.5より0.5ポイント改善し、2・四半期ぶりに改善した。前回(16年10月)調査の先行き(10~12月)予想の10.0より7.0ポイント改善している。

今後の予想のBSIは、17年1~3月は12.0、4~6月も11.5と悪化が続く予想となっている。

製造業の業況判断のBSIは16年7~9月の7.5から10~12月は繊維・縫製や金属・機械で

悪化したものの、食料品と電気機械などが改善し、製造業全体で10.5と改善した。先行き17年1~3月は電機機械がマイナスに転じるなど悪化し、6.0と5・四半期ぶりにマイナスに転じ、4~6月も先行き不透明感などから5.5と引き続きマイナスとなる予想となっている。

非製造業の業況判断のBSIは16年7~9月の15.0から10~12月は卸売業と小売業で改善するものの、運輸業と旅館・ホテルなどが悪化し、16.0と1ポイント悪化した。先行き17年1~3月は建設業や卸売業が悪化し17.5、4~6月も同水準(17.5)の予想となっている。

図 - 2 業況総合判断(製造業)

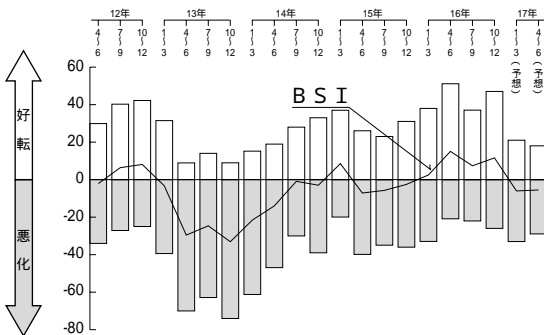
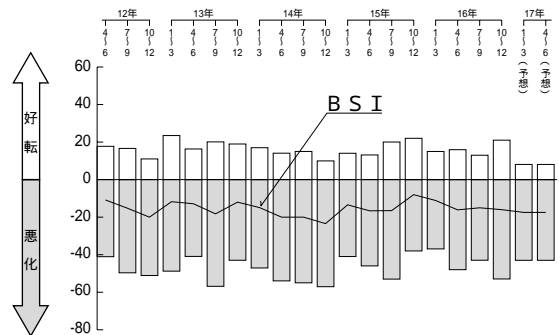


図 - 3 業況総合判断(非製造業)



## 3 売上.....製造業、非製造業とも悪化

製造業は増加幅は縮小したが増加が続き、非製造業は減少幅の拡大が続いた。

製造業は金属・機械と電気機械で改善したが、紙・紙加工品や窯業・土石などが悪化し、BSIは16年7~9月の5.0から10~12月は3.5と小幅ながら増加幅が縮小した。平成17年1~3月は電気機械で減少に転じ、悪化するため4.0となる予想である。

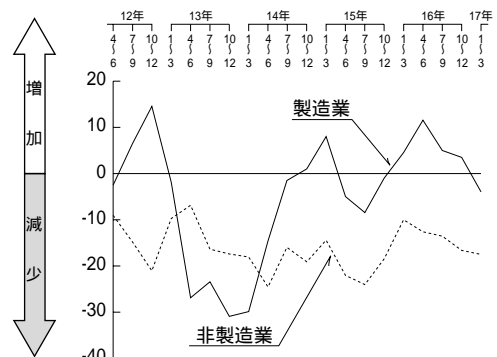
非製造業は卸売業や小売業が改善したが、建設業や運輸業、旅館・ホテルが悪化し、BSIは16年7~9月の13.5から10~12月は16.5と悪化した。平成17年1~3月は運輸業が改善するものの、卸売業と小売業が悪化することから小幅ながら悪化する(17.5)予想である。

なお、売上高の回答の集計は、全産業(回答のあった56社の加重平均)では、16年10~12月の実績が前年同期比11.6%増、平成17年1~3月の予想が5.6%増と、増加が続く予想である。

産業別にみると、製造業(31社)は16年10~12月

実績が18.0%増、平成17年1~3月予想が9.2%増と増加が続くが、非製造業(25社)では、16年10~12月実績が0.7%増と増加したものの、平成17年1~3月予想は1.0%減と減少する予想となっている。

図 - 4 売上高のBSI



# 1 概況.....県内景況は小幅ながら改善

鳥取県企業動向調査によると、平成16年10～12月の「自社業況の総合判断」は、非製造業は小幅ながら悪化したものの、製造業では改善し、全産業でのBSIは3.0(7～9月3.5)と前期比0.5ポイント改善し、2・四半期ぶりに改善した。

製造業は繊維・縫製や紙・紙加工品、金属・機械で悪化したものの、木材・木製品や食料品、電気機械などが改善し、全体でも改善した。非製造業は卸売業と小売業が改善したが、運輸業や旅館・ホテル、建設業が悪化し、全体でも小幅ながら悪化した。

全産業での先行きは、米国や中国を中心としたアジアの景気動向に対する不安やIT関連の在庫調整の動向等に対する不透明感から、製造業でもマイナスに転じ、非製造業はマイナス幅が拡大し、17年1～3月、4～6月の景況感悪化(1～3月・12.0、4～6月・11.5)する予想となっている。

## 1. 業種別の景況

製造業の景況感は、2・四半期ぶりに改善した(7.5 10.5)。

業種別にみると、繊維・縫製や紙・紙加工品、金属・機械で悪化したものの、木材・木製品や食料品、電気機械などが改善し、全体でも改善した。

先行き1～3月は電気機械や食料品などがマイナスに転じ、全体でもマイナスに転じる予想となっている。4～6月は、ほぼ同水準で推移する予想となっている。

非製造業の景況感は、わずかながら悪化した。業種別にみると、卸売業と小売業で改善したものの、運輸業と旅館・ホテルが大幅に悪化し、全体でも1.0ポイント悪化した(15.0 16.0)。

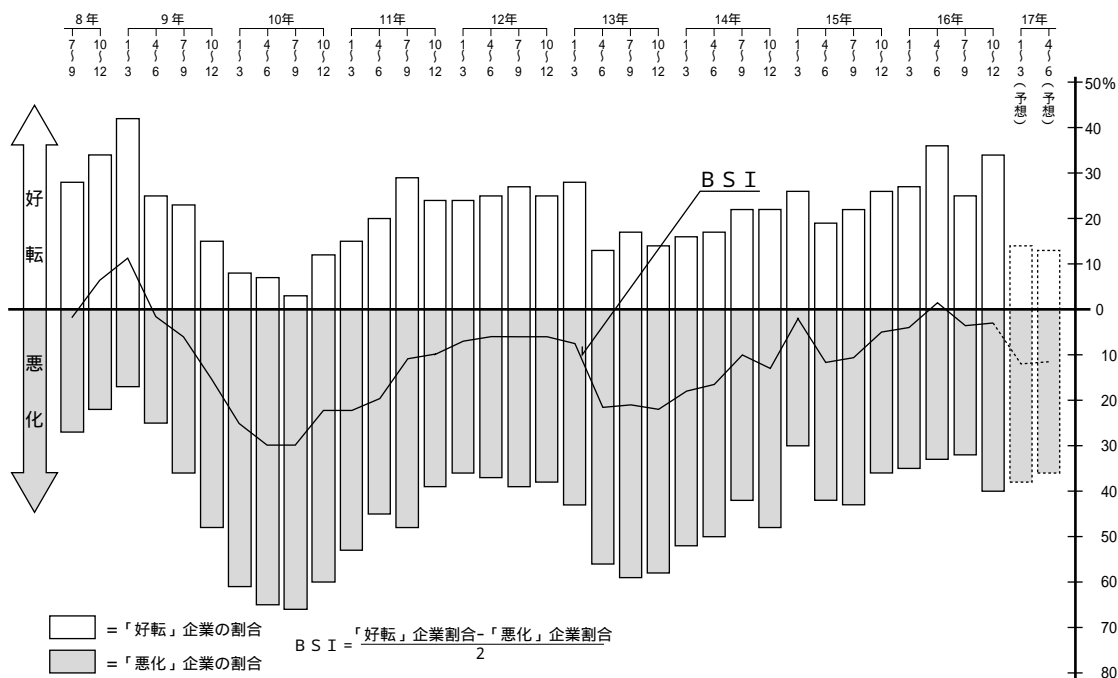
先行き1～3月は、建設業と卸売業のマイナス幅が拡大することから、全体でも悪化(17.5)し、4～6月は同水準(17.5)で推移する予想となっている。

## 2. 経営上の問題点

経営上の問題点(大きいものから2項目の選択)については、「売上・受注の減少」を選択する企業が全体の48%、「仕入価格の上昇」が24%、「先行き見通し難」が23%、「過当競争」が21%と続いており、「仕入価格の上昇」は、素材価格の高騰に不服感がでたこともあり、7～9月から8ポイント低下した。

先行き1～3月は、「売上・受注の減少」(46%)、「先行き見通し難」(28%)、「仕入価格の上昇」(21%)、「過当競争」(21%)となっており、先行きの景気動向に対する不透明感を窺わせる予想となっている。

図 - 1 自社業況の総合判断の推移



## 調査要領

**調査目的** 鳥取県内の企業動向を調査し、県内景気の現状及び先行きを把握するため。

**調査対象** 県内企業256社、回答企業120社、回答率46.9%。

**調査方法** 各支店を通じるか、または郵送による記名式回答。

**調査対象期間** 平成16年10～12月実績及び平成17年1～3月予想。

**調査時点** 平成17年1月。

### 業種別回答企業数

		回答企業数	構 成 比	うち中小企業	構 成 比
製 造 業	食 料 品	9	7.5	9	100.0
	織 維 ・ 縫 製	3	2.5	3	100.0
	木 材 ・ 木 製 品	3	2.5	3	100.0
	紙 ・ 紙 加 工 品	5	4.2	5	100.0
	窯 業 ・ 土 石	5	4.2	5	100.0
	金 属 ・ 機 械	14	11.7	13	92.9
	電 気 機 械	15	12.5	13	86.7
	印 刷 ・ そ の 他	5	4.2	5	100.0
計		59	49.2	56	94.9
非 製 造 業	建 設 業	17	14.2	16	94.1
	卸 売 業	22	18.3	19	86.4
	小 売 業	14	11.7	10	71.4
	運 輸 業	4	3.3	4	100.0
	旅 館 ・ ホ テ ル	4	3.3	4	100.0
	計		61	50.8	53
全 部 門 計		120	100.0	109	90.8

注：中小企業の範囲

製造業・建設業・運輸業...資本金3億円以下または従業員300人以下の企業

卸 売 業.....資本金1億円以下または従業員100人以下の企業

小 売 業.....資本金5千万円以下または従業員50人以下の企業

サ - ビ ス 業.....資本金5千万円以下または従業員100人以下の企業

### BSIとは

ビジネス・サーベイ・インデックスは業況や売上など項目ごとに、企業経営者の「好転」、「不变」、「悪化」の判断を集計し指標化したもので、時系列的に景気の動きを把握するもの。BSIがプラスならば全体として「良い・上昇・好転」とみなされ、逆にマイナスは「悪い・低下・悪化」と判断できる。